



『全てを子供たちのために』

杉小だより

令和2年 5月12・13日発行 第3号 文責校長

塩竈市立学校の取組

「挨拶」「くつならべ」

「美しい言葉」

杉小プラスワン

「きれいな黒板」

しおがほ「ふれあい」運動

ふだんから「早ね・早あき・朝ごはん」

みんなで時間を決めよう「テレビやゲーム」

あどだかく語り合おう「夢タイム」

いっしょに取り組み「体力づくり」

学校再開に向けて

校長 秋山 治美

学校の休業が5月31日までとなり、子供たち全員の声が学校に戻るまで、寂しい日が続きます。朝起きて学校で勉強したり、友達と遊んだり、給食を食べたりといった当たり前のことのすばらしさ、大切さを痛感しています。子供たち、そして、ご家庭の皆様も、学校再開までの間の生活、そして再開後の学校生活の在り方について不安を持たれていることと思います。

学校再開後については、現在の感染の状況、今後の見通し、国や県動向を踏まえ、市教育委員会指導の下、職員全員で考えられる最善の方法を探っています。今後の学校行事については、本日お渡しした「PTA 総会資料」及び追加資料を参照願います。なお、学校行事については、今後の拡大状況によって、学習内容と授業日数の関係から日程変更や中止も視野に入れておりますので、ご理解をいただければと思います。

さて、4月末から実施した「家庭訪問」において、子供たちの居住地を確認することができました。急なお願いであったにもかかわらず、時間の都合を付けてくださった方も多く、感謝申し上げます。子供たちと直接、顔を会わせることのできた担任から「子供たちに会えてほっとした」「元気な顔を見ることができ、早く学校を再開したいと思った」「楽しい学級になるよう、準備をしっかりしたい」という声が多く聞かれました。

しかし、中には、元気がなかったり、学校再開への不安を抱えていたりする子供たちもいたようです。それを心配した教員から、「今できる最大限のことをしたい」という声広がっています。そこで、本日、お便りやメールでお知らせしたことを含め、以下の取組を継続、新たに実施することとなりました。



○ 「学習計画表」と課題の配付（前回に引き続き実施）

規則正しい生活を送ることが、学校再開を円滑に迎えるためには不可欠です。

今回の課題は、昨年度の復習よりも本年度、新しい学年での学習内容が多く含まれています。学校再開後にその内容は改めて学習しますが、配当する時間が少なくなることが予想されます。教科書を参考に取り組んでほしいと思います。

○ 学校ホームページによる「学習支援サイト」の紹介（前回より更新）

紹介するサイトを増やしました。興味深く取り組むことのできる内容が工夫されています。

◎ 「オンライン学級活動」（新規）

子供たちの「疎外感」「生活への不安」を取り除くために、本校教員がオンライン会議ツールを活用して、子供たちと交流します。参加希望の有無の確認を行います。詳しくは、本日配布の別紙、または一斉メール（13日配信）をご覧ください。



◎ 図書室の本の貸し出し（新規）

臨時休業中に、2日ほど図書室の本の貸し出しを行います。この機会に本に親しんでほしいと思います。詳しくは、本日配布の「としよしつだより」をご覧ください。

なお、来週は、地区ごとの分散登校を計画しています。決定次第、お知らせします。また、20日、21日、22日の校納金の集金もよろしく願いいたします。

